

オレに聞け!!

交通と旅行

大島 登志彦



経済学部教授。
交通論、日本地誌・世界地誌
を担当。

東京学芸大学大学院修士課程教育学研究科地理学専攻を修了後、高等学校、高等専門学校に勤めた後、本学では5年目。主な研究課題は、地方鉄道や路線バスの変遷と地域社会の関係。

学生のころから、鉄道やバスを主に、いろいろな交通機関について、調査したり資料を集めてきました。そのため、旅行・出張・会社訪問・遠距離通学などをする時、利用する乗り物や切符の買い方など、相談にすれば、何かしら役に立つ情報を提供できると思います。とくに、〇〇まで行くのに「少しでも安く」、「少しでも早く」、「何か面白い行き方で」、いなかのバスの情報など、インターネットや駅すばあとなどでわからない部分が得意です。



鳥たちを運ぶ風のように

—「風来のシレン」に挑戦

岡田 和彦



「鬼襲来！シレン城！」鬼ヶ島を攻略して黄金の城を築き、秘剣カブラステギとラセン風魔の盾を装備してあかずの間でプレイ。装備類を9割収集。／落ちていたアイテムを拾っては売りつける行商人、突如現れてはつきまとう押し売り商人、普段は人畜無害だかビジネスを妨害されるや鬼よりも恐くなる店主。彼らは市場経済の下での無政府的な利潤追求行動の担い手。／「女剣士アスカ見参！」鋼賀の隠し穴を攻略して剛剣マンジカブラを入手し、7つの試練をクリア。残るカカルーの試練では銀猫魔天ティナの妖艶さに苦戦中。



経済学部助教授。
経済原論B、経済システム論
担当。

広島県生まれ。1996年東京大学大学院経済学研究科修了。経済学博士。一時期、電機工場労働者として生きる。最近、若づくりの自分に疑問を感じ、澁さで勝負の中年サラリーマンへの転身を模索中。はたして「うだつのあがらない」存在になれることができるか。